



建交労



2021年10月3日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2021年秋季年末闘争 No.1

2020年度推進ニュース③通算231号

発行責任者 佐藤 章

環境問題から政治を考える・新谷昌之さん かわさきから政治を変える川崎区学習会

神奈川県労働者学習協会は10月2日、川崎市教育文化会館に於いて「かわさきから政治を変える 川崎区学習会」と銘打ち、川崎市市内での労働学校再開を視野に入れた学習会を開催しました。

前日にコロナ禍の緊急事態宣言が解除されたとはいえ、主催者は3密を避けるため会館の2室を使った広い会場を準備しましたが35人が参加し学習会の会場は人で満たされた状態のなかで開催されました（県南支部は3名が参加）。

開会挨拶は、以前から神奈川県学習協会の活動に携わっている日本共産党の後藤まさみ川崎市議会議員がおこない、講師は同協会副会長の新谷昌之さんが務め、新谷さん自身も初めてという学習会テーマ“環境問題から政治を考える”と題する講演が行われました。



開会挨拶を行なう後藤まさみ川崎市議会議員



講演する神奈川県学習協会の新谷副会長

新谷さんは、まず、新型コロナウイルスなど新たなウイルス感染症の増加をはじめ、地球温暖化による大型台風や豪雨・大洪水の多発、大規模森林火災や森林伐採による砂漠化の進行、海水温の上昇による氷山の融解や陸地の水没、熱波による死亡者の増加など、かつてない大規模災害が頻発する深刻な気候危機の実態を明らかにしました。

そのうえで、地球温暖化の原因が、産業革命以降の資本主義経済とりわけ市場原理・市場経済至上主義・新自由主義経済（人間活動）にあると、国連が断定したことを指摘し、2030年までに温暖化の主要原因である二酸化炭素の排出を2010年時点より45%以上削減させ、2050年には排出をゼロにする国際目標の達成が全世界に求められていることを強調しました。

そして、日本でその国際目標の達成を阻んでいるのは、自公政権であることを告発し、CO₂の排出ゼロを達成し地球の未来・人類の未来を救うためには、日本人として地球人としての自覚と誇りをもって、日本国憲法の求める生き方を実践しましょうと呼びかけ、来る10月24日の川崎市長選挙をはじめ、間近に迫っている総選挙などで地球温暖化阻止の国際目標達成を明確に位置付ける候補者や市民と野党共闘の勢力を勝利させ政権交代を実現する選挙闘争に打って出ることを訴えて講演を締めくくりました。

内閣総理大臣 殿

唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名

いま世界では、核兵器禁止条約の発効から核兵器廃絶へとすすもう、という声があがっています。多くの国ぐにが被爆者の声に耳を傾け、「核兵器による安全」ではなく、「核兵器のない世界による安全」を選択し、核兵器禁止条約を支持し、参加しつづけます。

唯一の戦争被爆国である日本政府は、核兵器廃絶の先頭に立たなければなりません。

国内の世論調査でも、日本が核兵器禁止条約に参加すべきとの声は7割を超えています。日本政府がこの被爆者と国民の声に誠実に応えることを訴えます。

名 前	住 所	募 金

私は、日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求めます。

【取扱団体】

連絡先：署名事務局（原水爆禁止日本協議会）
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-4
電話：03-5842-6031